



株式会社前田製作所

**2020年3月期
第2四半期
決算説明資料**

2019年11月13日

証券コード 6281

目次

1. 2019年度 方針展開
2. 2020年3月期 第2四半期 決算概要
3. 今後の見通し

1. 2019年度 方針展開

2019年度 社長方針

スローガン

『変化にすばやく対応する年』

新中期3ヵ年経営計画における
「成長の実現」に向けたスタートの年

あらゆる変化に迅速に対応できる環境づくり

変化への対応

スピードある対応

技術のマエダ

人にやさしい経営

2019年度 社長方針

重点戦略

1. イノベーションの推進による成長と利益の確保

✓スマートコンストラクションへの取り組み強化

✓新たな価値の提供による販路拡大

✓アフターマーケット事業の拡大

✓ものづくりにおけるコスト低減・スピードアップ・品質確保

✓新たな技術を活かした製品群の開発

✓合金微粉末製造における生産性向上と原価低減

2019年度 社長方針

2. 人財育成と技術の向上

✓適材適所で力を発揮できる人財の育成と仕組みづくり

3. 安全・健康・コンプライアンス

✓安全作業の徹底強化

✓社員が健康で働きやすい職場環境づくり

2019年度 経営計画

【2019年度 通期連結業績計画】

(単位:百万円)

区 分	2018年度 実績	2019年度 計画
売上高	36,505	37,000
営業利益	1,689	1,700
経常利益	1,753	1,750
親会社株主に 帰属する 当期純利益	942	1,150

2. 2020年3月期 第2四半期決算概要

連結業績

連結要約損益計算書

(単位:百万円)

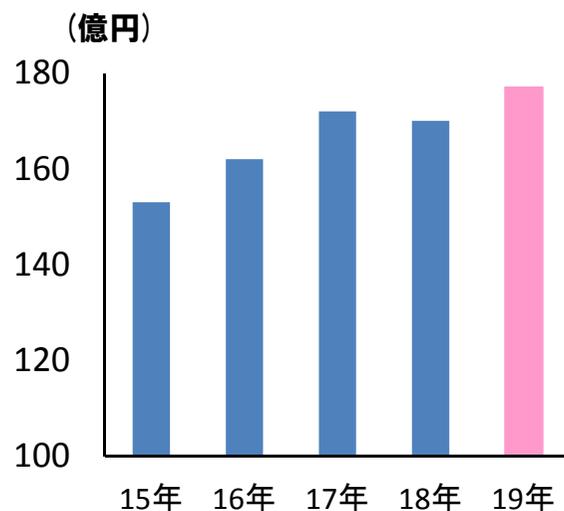
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前期比 増減額
売上高	17,091	17,729	637
売上総利益	3,126	3,279	153
販売管理費	2,545	2,634	89
営業利益	581	645	64
経常利益	621	680	58
親会社株主に帰属する 四半期純利益	424	447	22

経営成績の推移

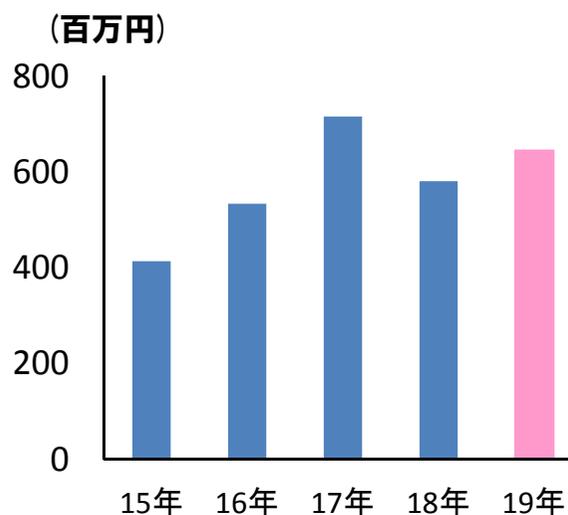
(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前期比 増減率
売上高	17,091	17,729	3.7%
営業利益	581	645	11.0%
経常利益	621	680	9.4%

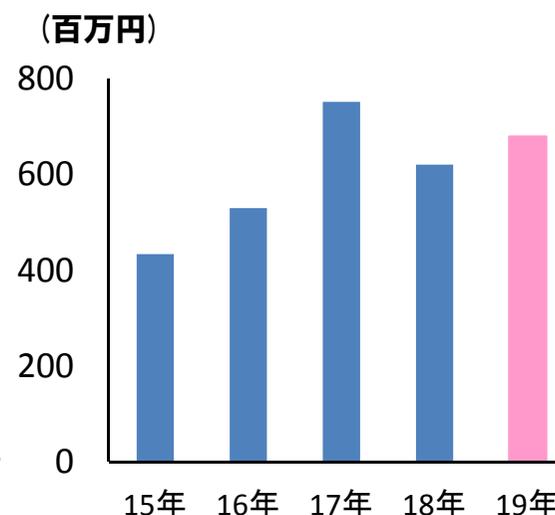
■ 売上高



■ 営業利益



■ 経常利益



連結要約貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計 年度末比 増減額
資産の部			
流動資産	18,898	17,579	▲1,318
固定資産	12,474	11,907	▲566
資産合計	31,372	29,487	▲1,885
負債の部			
流動負債	14,342	12,635	▲1,707
固定負債	5,539	5,185	▲354
負債合計	19,882	17,820	▲2,061
純資産の部			
株主資本合計	10,651	10,897	245
その他の包括利益累計額合計	838	769	▲69
純資産合計	11,490	11,666	176
負債純資産合計	31,372	29,487	▲1,885

※百万円未満切り捨て

連結要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

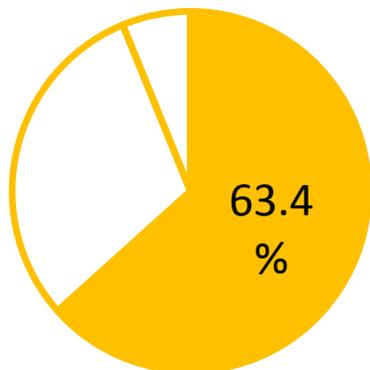
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比 増減額
税金等調整前四半期純利益	611	673	61
営業キャッシュ・フロー	1,542	837	▲705
投資キャッシュ・フロー	▲843	▲1,019	▲175
財務キャッシュ・フロー	▲700	▲923	▲222
現金等増加・減少(△)額	▲0	▲1,108	▲1,107
現金等期首残高	5,123	5,968	845
現金等四半期末残高	5,123	4,860	▲262

※百万円未満切り捨て

2019年度上期 経営成績の分析

建設機械関連事業

売上高構成比



当期

売上高

11,241百万円

(前期比:4.7%up)



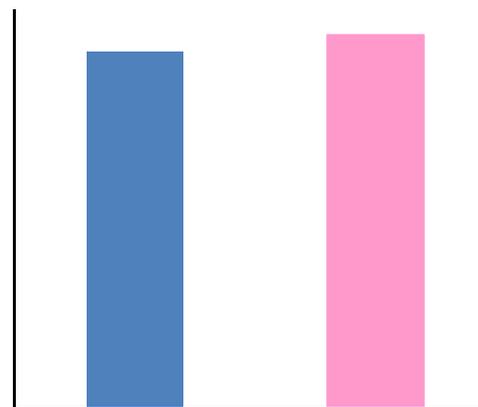
(百万円)
12,000

8,000

4,000

0

売上高



18年上期 19年上期

建機商品

増税前の駆け込み需要等により増加

(前期比:9.0%up)



建機レンタル

稼働状況は前年並みに推移

(前期比:▲1.9%)



建機サービス

前期並みで推移

(前期比:▲0.4%)



セグメント別売上高

(百万円)

8,000

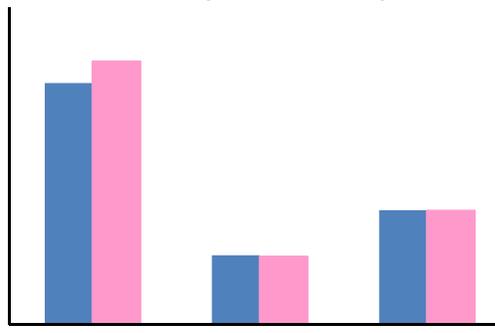
6,000

4,000

2,000

0

■ 18年上 ■ 19年上

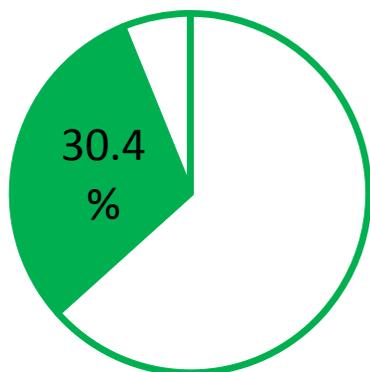


建機商品 建機レンタル 建機サービス

2019年度上期 経営成績の分析

産業・鉄構機械等関連事業

売上高構成比



当期

売上高
5,397百万円
(前期比:2.1%up)



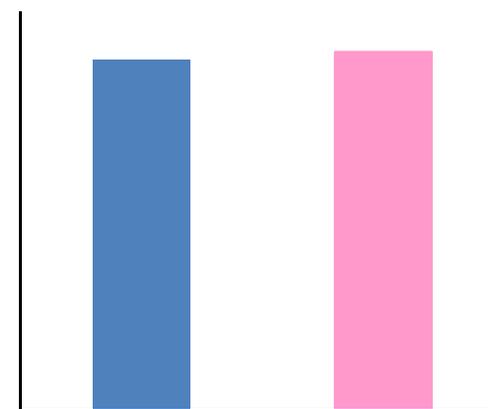
(百万円)
6,000

4,000

2,000

0

売上高



18年上期 19年上期

産機製品

かにクレーンが増加

(前期比:8.8%up)



鉄構製品

IT関連設備が減少

(前期比:▲29.0%)



産機商品

高所作業車が増加

(前期比:3.1%up)



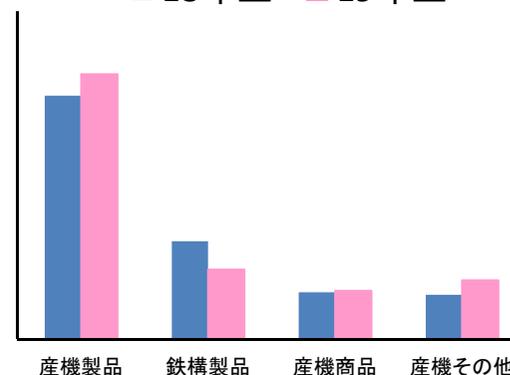
セグメント別売上高

(百万円)
4,000

2,000

0

■ 18年上 ■ 19年上

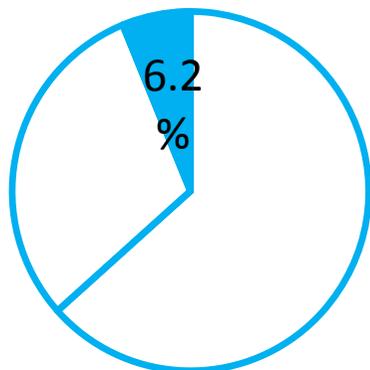


産機製品 鉄構製品 産機商品 産機その他

2019年度上期 経営成績の分析

介護用品関連事業・その他

売上高構成比



当期

売上高

1,090百万円

(前期比:2.3%up)



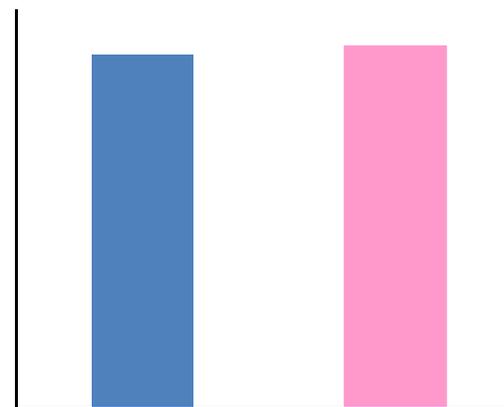
(百万円)
1,200

800

400

0

売上高



18年上期

19年上期

介護用品

マーケットシェアの獲得により増加

(前期比:5.7%up)



シリンダー製造事業

産業機械向けシリンダーが堅調

(前期比:2.6%up)



セグメント別売上高

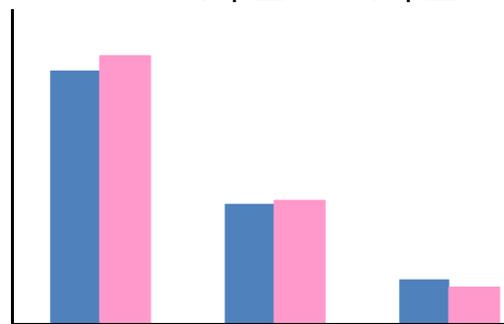
(百万円)

800

400

0

■ 18年上 ■ 19年上



介護用品

シリンダー

その他

※「その他」には、MAS・技術本部を含む。

子会社の経営状況

子会社の経営状況

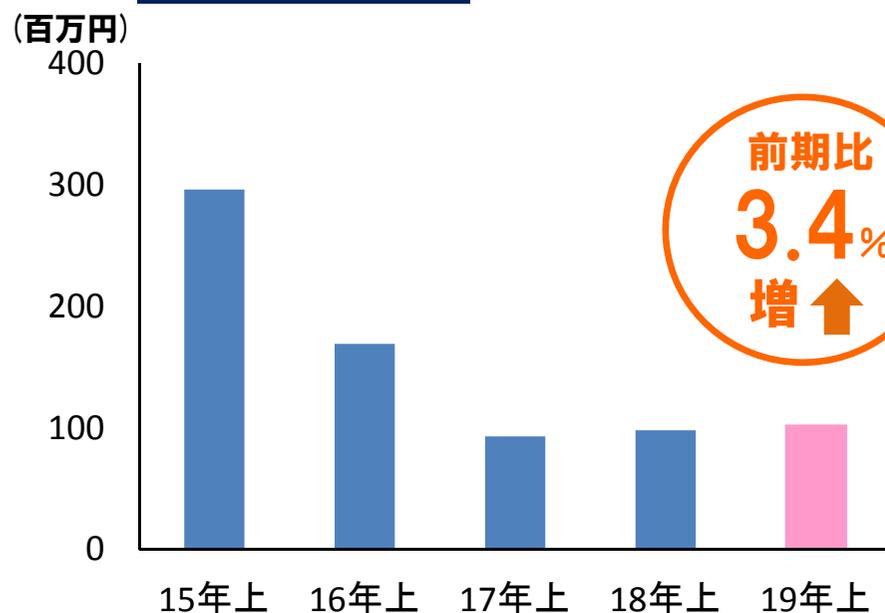
マエダオールサポート

(単位:百万円)

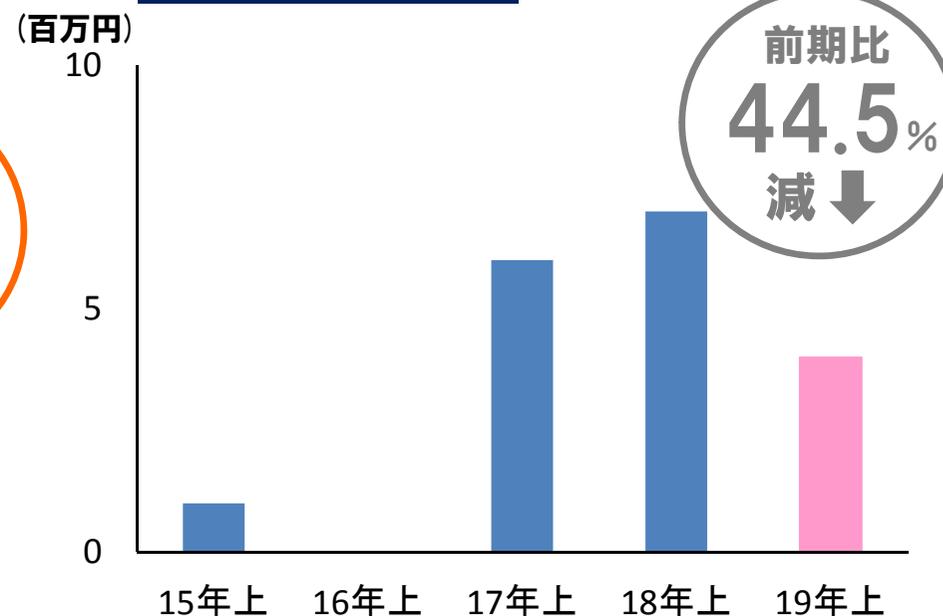
	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	98	7	7
当第2四半期	102	4	4



売上高の推移



営業利益の推移



子会社の経営状況

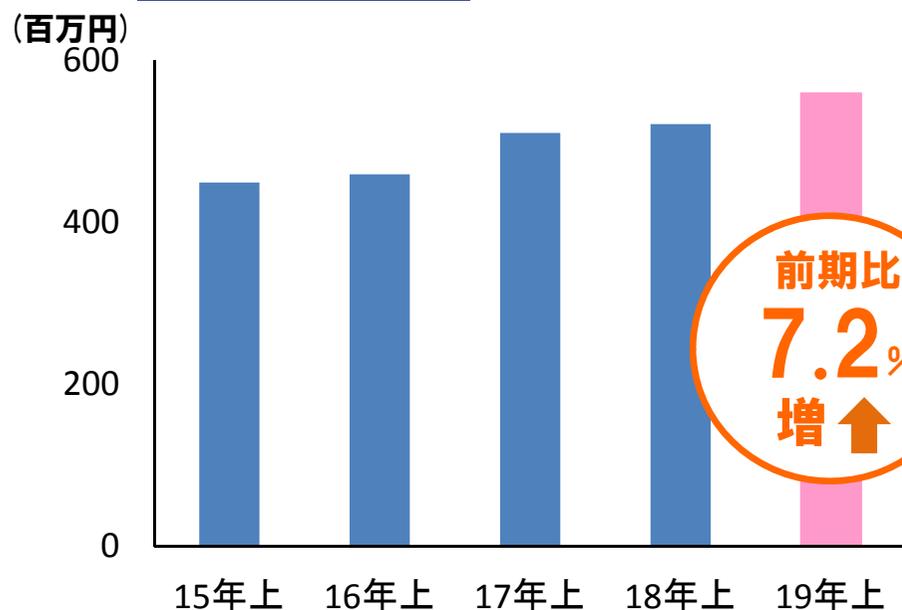
ネオックス

(単位:百万円)

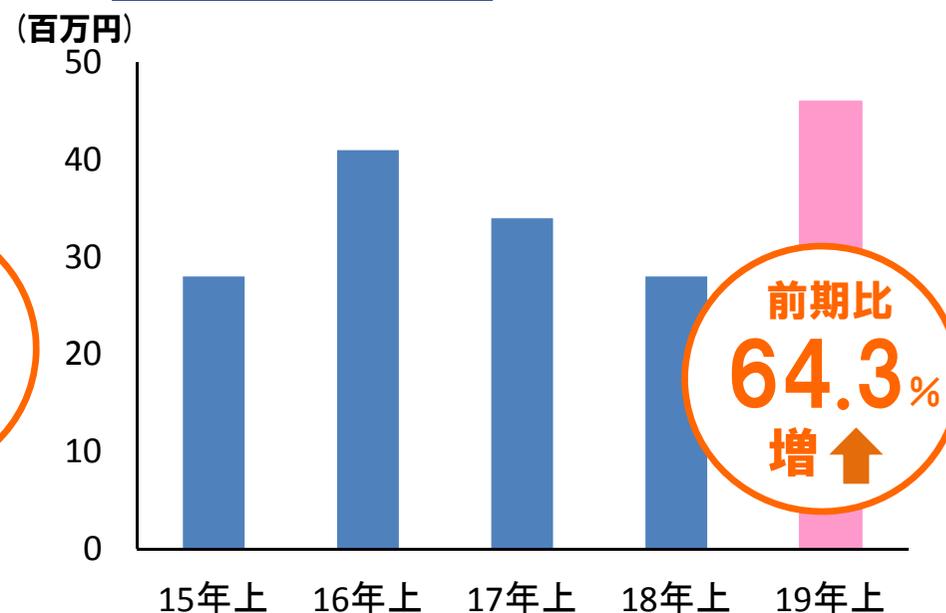
	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	521	28	22
当第2四半期	559	46	43



売上高の推移



営業利益の推移



子会社の経営状況

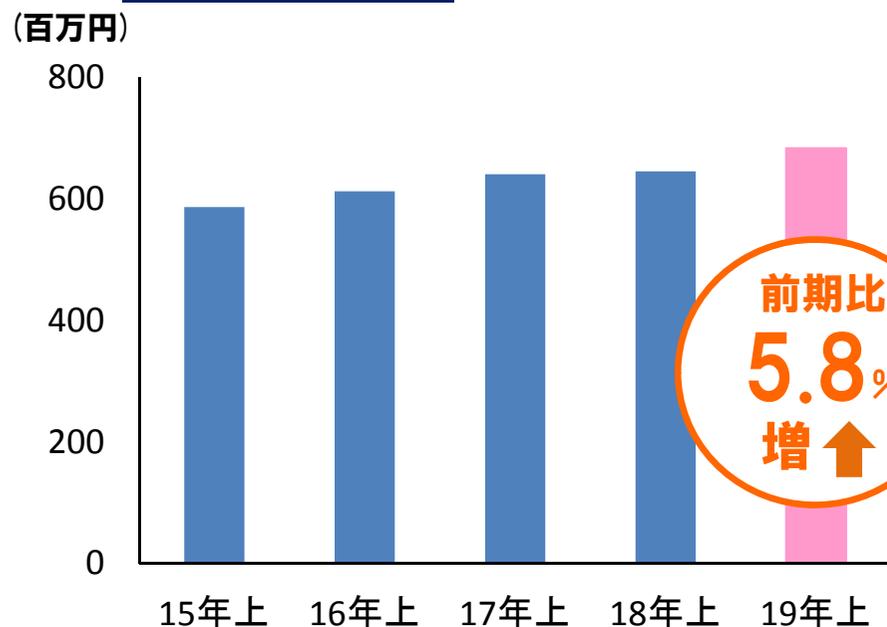
サンネットワークマエダ

(単位:百万円)

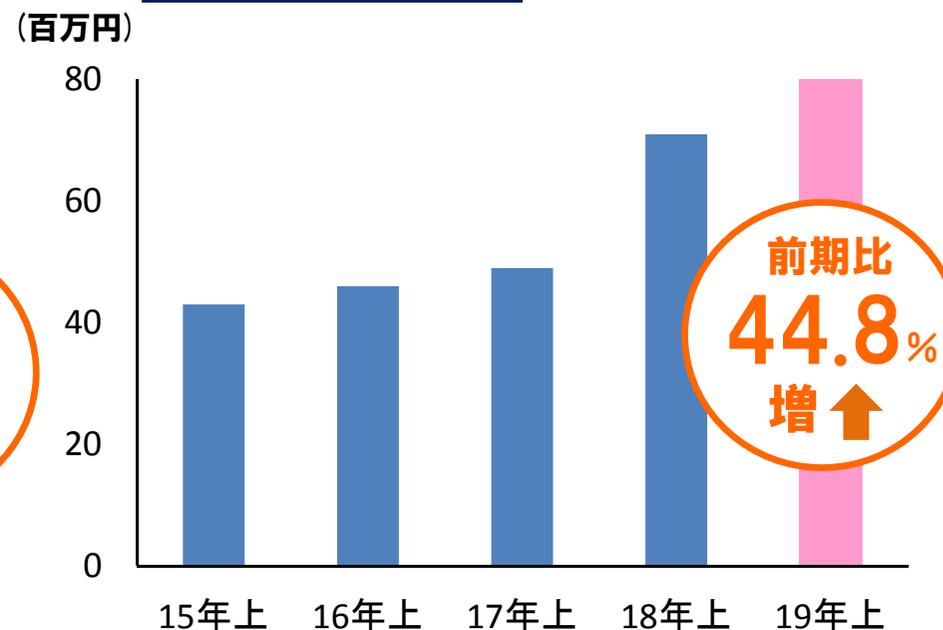
	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	645	71	64
当第2四半期	683	103	99



売上高の推移



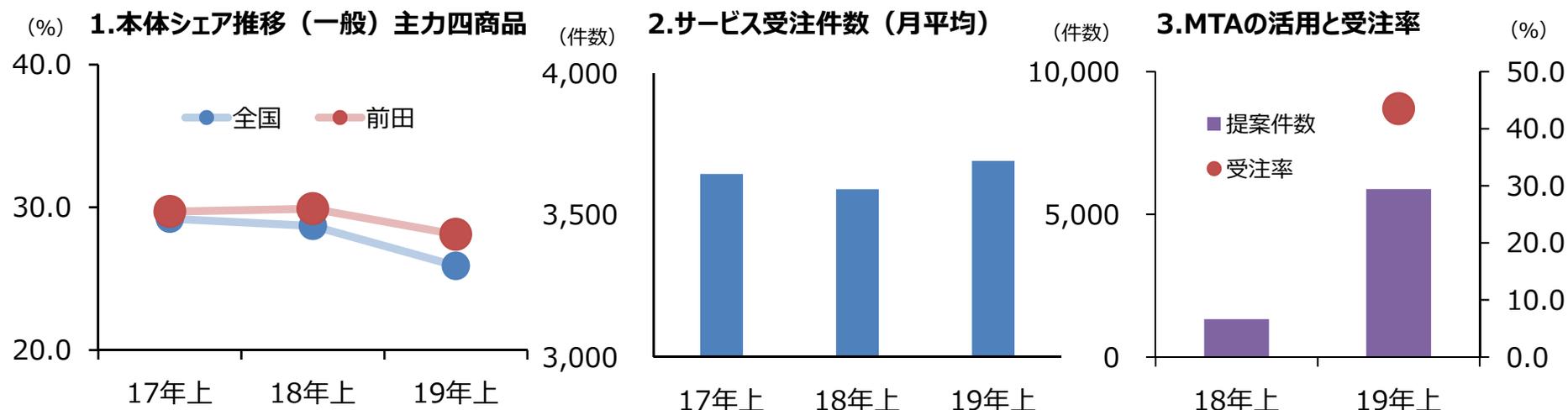
営業利益の推移



建設機械関連事業の取り組み

建設機械関連事業

■ ストック確保によるサービス取引の拡大



下期取り組み事項

- ・ IoT活用による更新時期のリコメンド強化
- ・ スマホアプリによる点検レポート

建設機械関連事業

■ リコmend・受注（営業・メカニックにも展開）



MTA（マシンタッチアプリ）

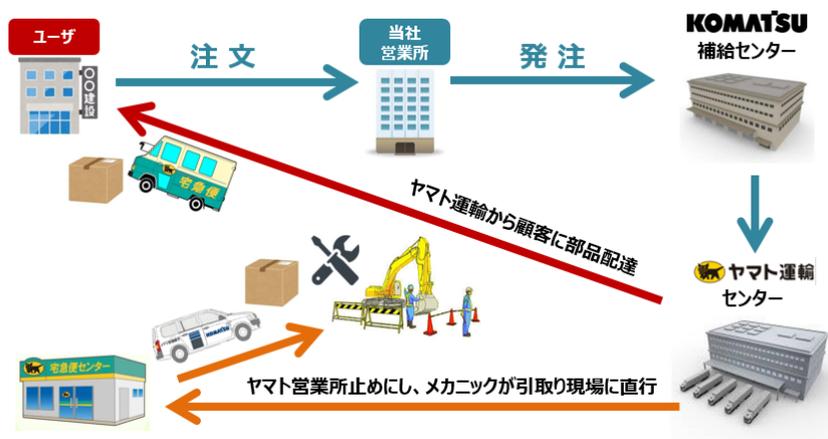


- 車両タッチの実施
- レポート作成
- 不具合状況の説明
- 拠点メールボックスへ送信し情報共有

建設機械関連事業

IT化(効率化)の推進

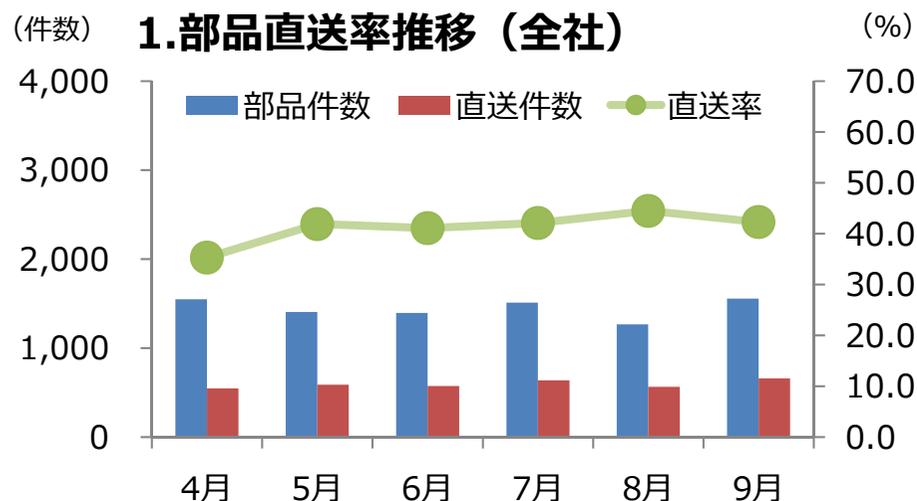
部品直送システムの導入



バーコードリーダーの活用



部品在庫処理の軽減



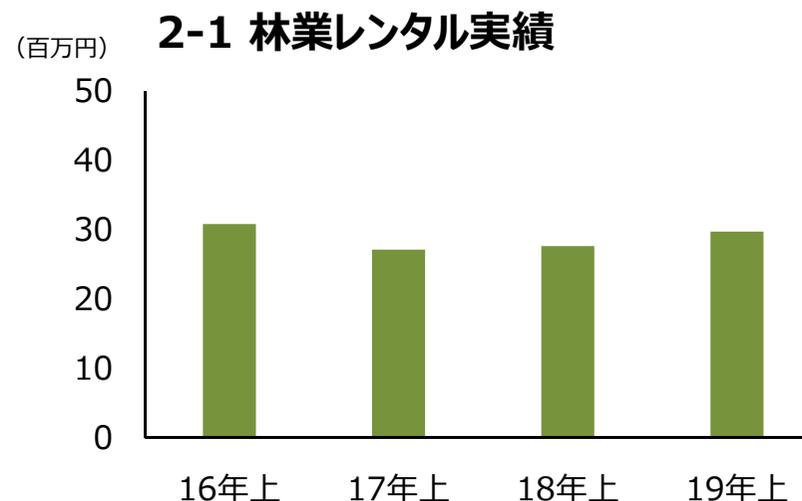
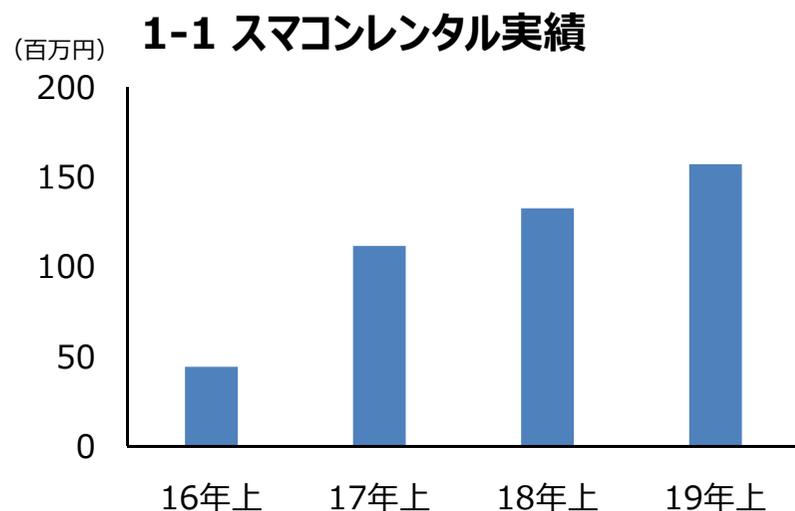
特定検査電子帳票



i-Padを活用し、記録表作成工数の効率化を実施

建設機械関連事業

ITソリューション活動による受注の拡大



1-2 ICT (IMC) 建機受注実績

年度	'17年上	'18年上	'19年上
台数	1台	2台	2台

2-2 林業商品受注実績

年度	'17年上	'18年上	'19年上
台数	3台	10台	11台

下期取り組み事項

- ・コンサルティングの出来る人材の育成と更なるIT化の推進
- ・スマート林業への取り組みスタート

建設機械関連事業

■ スマートコンストラクションと林業レンタル

ICTレンタル



林業レンタル

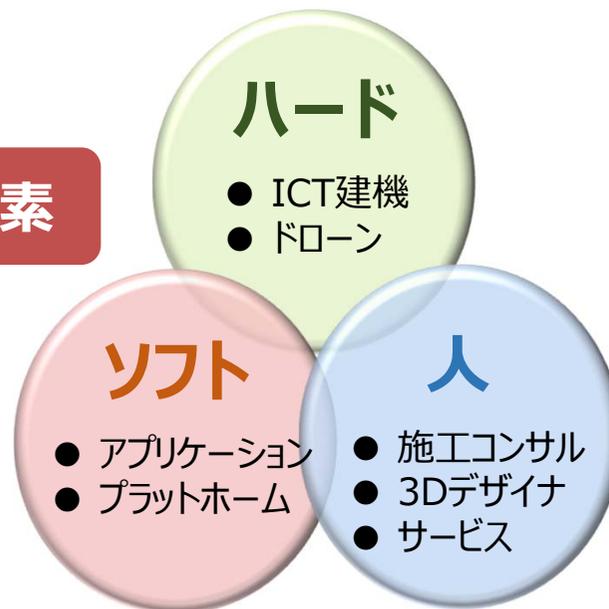


建設機械関連事業

■ スマコン人材及びレンタルコンサルタントの育成

スマコンは従来のビジネス（販売・サービス）ではなく
『**施工の効率化・最適化**』を提供する**コト**

スマコンを構成する3要素



若手を中心に教育育成を進める

- ① 土木施工 2 級及び 1 級の資格チャレンジ
- ② アプリケーションなど I T 要員の育成
- ③ 林業プロジェクトへの参加

建設機械関連事業

■ スマコン受注へ向けてのチャレンジ

土木施工管理技士2級 取得に向けて



2018年度：7名 合格

2019年度：13名 チャレンジ中

知識・技能習得（教育）により
スマコン受注拡大に繋げる

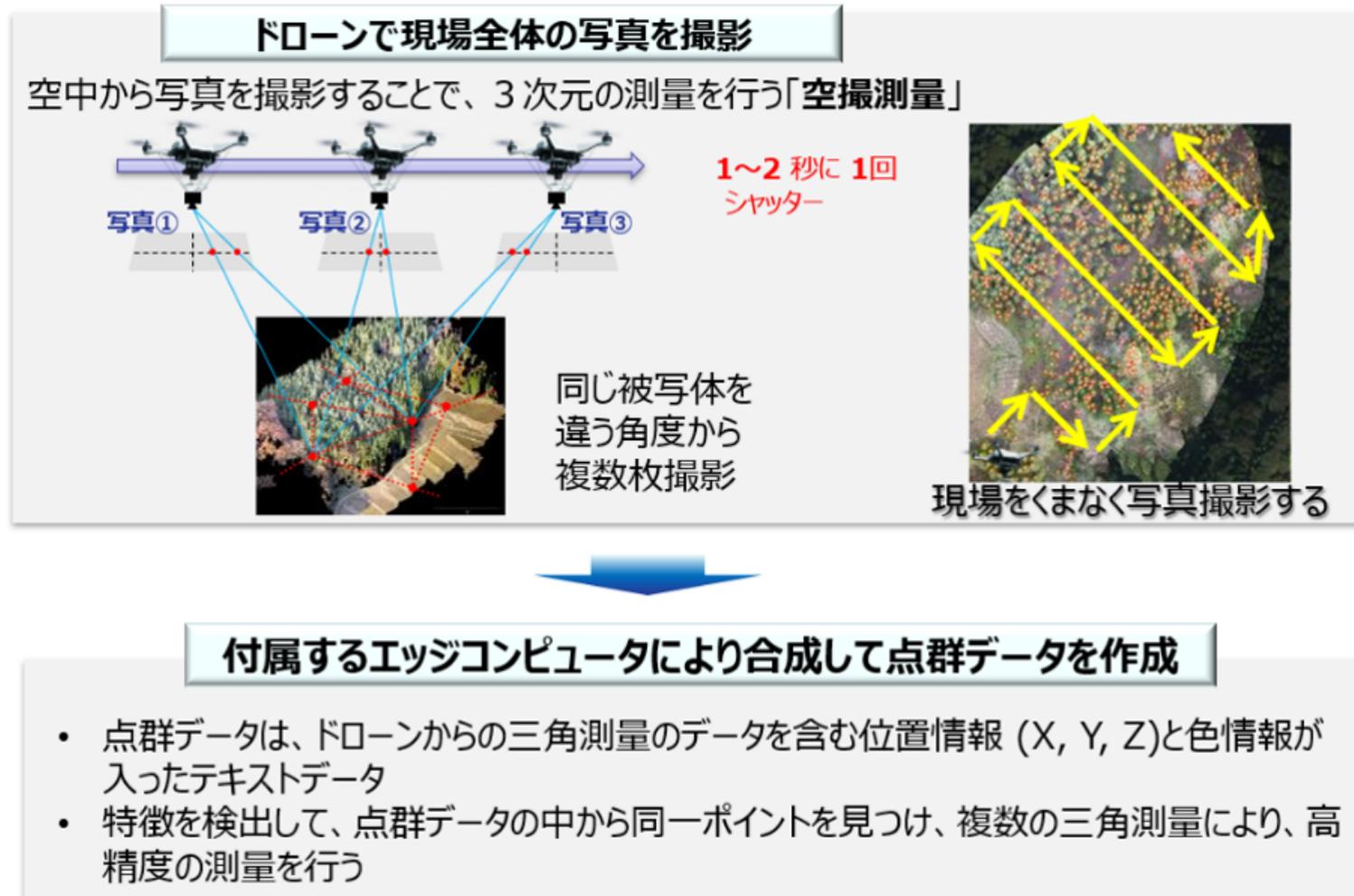
建設機械関連事業

■ スマート林業への取り組み



建設機械関連事業

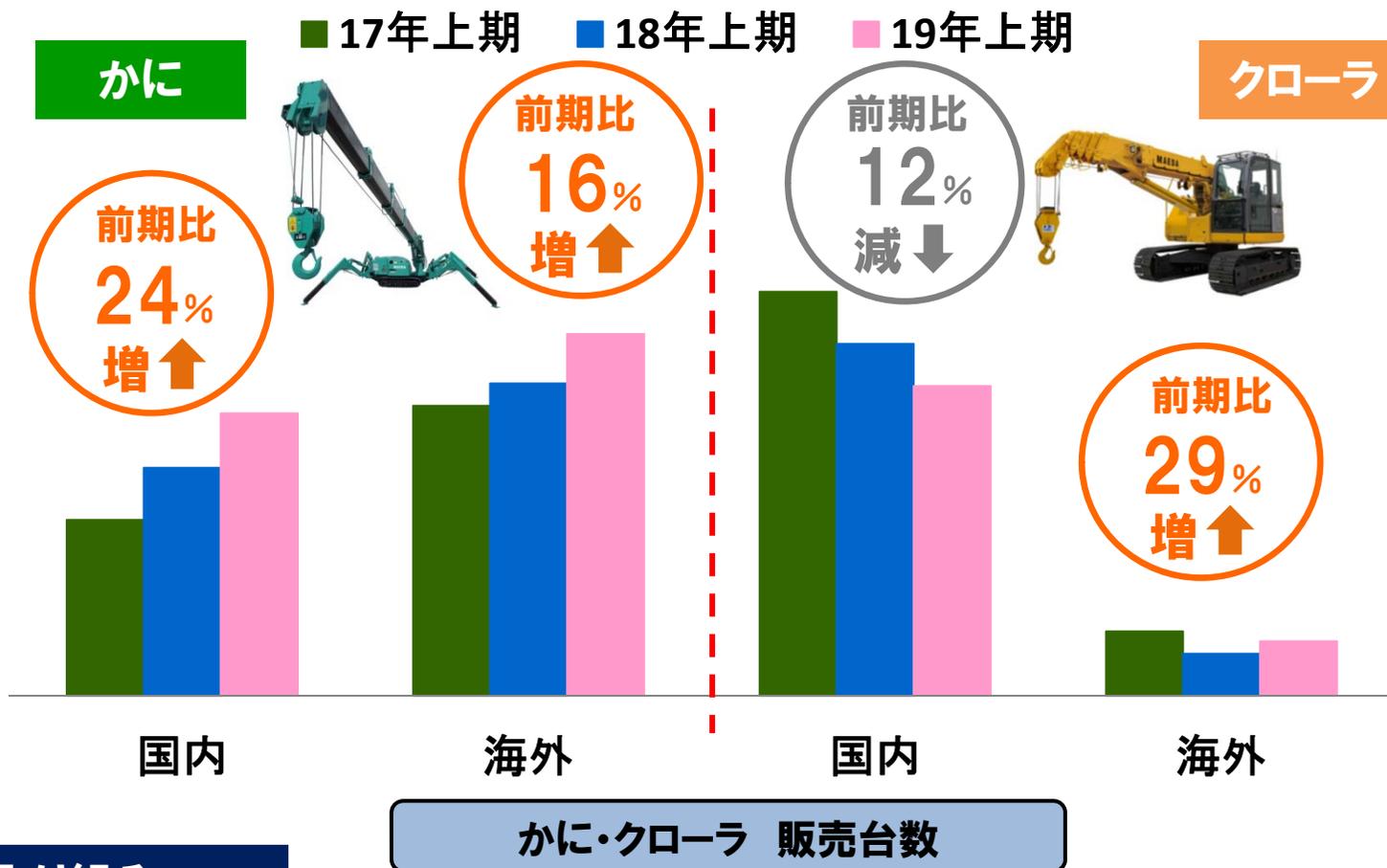
■ ドローンデータによる林業計測



産業・鉄構機械等関連事業 の取り組み

産業・鉄構機械等関連事業

海外市場の拡大



下期取り組み

- ・米州・アジア市場開拓による売上高拡大
- ・新型CC1908受注活動による売上確保

産業・鉄構機械等関連事業

●「かにクレーン」エリア別販売台数比率

ヨーロッパ地域

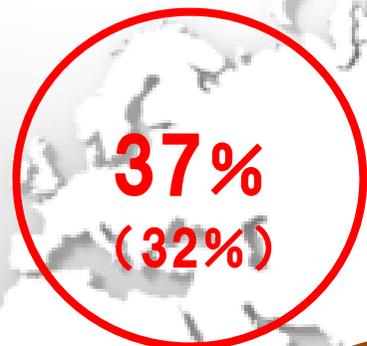
国と地域：34

- ドイツ ●フランス ●UK ●ベルギー ●スウェーデン
- オランダ ●オーストリア ●ノルウェー ●ロシア ●スイス
- フィンランド ●イタリア ●カタール ●トルコ、他

米州地域

国と地域：5

- アメリカ ●カナダ
- ブラジル ●コロンビア
- アルゼンチン



アジア地域

国と地域：10

- 韓国 ●中国&香港 ●台湾
- インドネシア ●シンガポール
- ベトナム ●タイ ●インド、他



オセアニア地域

国と地域：2

- オーストラリア
- ニュージーランド

【2019年上期 かにクレーン販売台数構成比】()は前年上期

産業・鉄構機械等関連事業

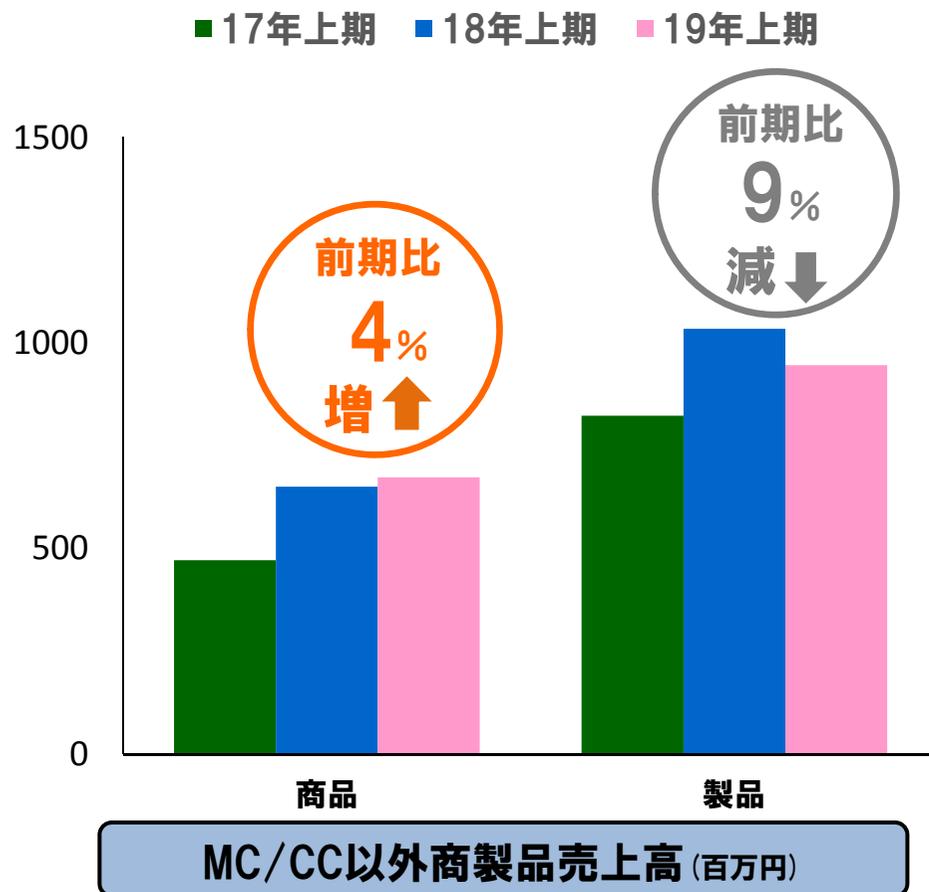
■ 新製品開発状況【既存分野拡大】

モデル	2019度 上期	2019年度 下期
MC055C		市場導入予定
CC1908		市場導入予定



産業・鉄構機械等関連事業

MC/CC以外商製品成長による事業安定



MDT30E4f

中小企業税制対象機種種のPRによる販売強化

解体ロボット・バキュームリフター

展示会出展・実機デモによる認知度向上活動

個別受注品

製作主体の製品受注及び納入促進

油圧集材機

関係団体との協調によるPR活動

下期取り組み

・MDT30、解体ロボット、集材機等 商製品販売による売上確保

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【既存分野拡大】

《アーティキュレートダンプトラック MDT30E4f》

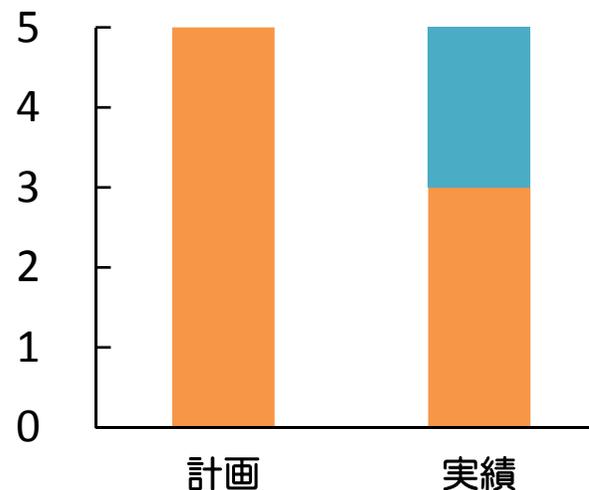
30項目を超える改善・改良を加え新型機へ

- ◆坑内作業性は断然優位，小旋回性能で他社機を凌駕
- ◆1次排ガス規制車約300台の入替需要を狙う



2019年3月 発売

■ 販売台数 ■ 受注



MDT30 19年度上期販売状況

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新商品・新製品の紹介【新分野開拓】

林業

普及型
高性能油圧集材機

FY253

- ◆次世代森林産業展
長野市ビックハット(8/1~3)
- ◆林業機械展(沖縄)
(12/14・15)出展



建築

カーテンウォール据付クレーン

MC303CF



再開発計画向け
PR活動展開

解体

電動遠隔解体ロボット

DXRシリーズ

- レンタル会社導入
- ◆建設技術展
(10/16・17)
- ◆ゼネコン展示会
(11/14・15)出展

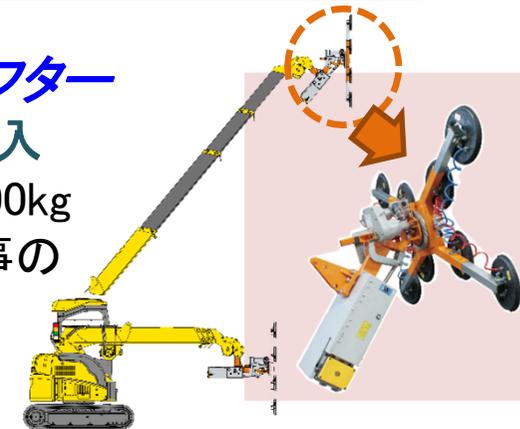


建築
土木

アタッチメント

バキュームリフター

- レンタル会社導入
- 吸着荷重Max600kg
- パネル据付工事の
省力/省人化
- 安全性向上

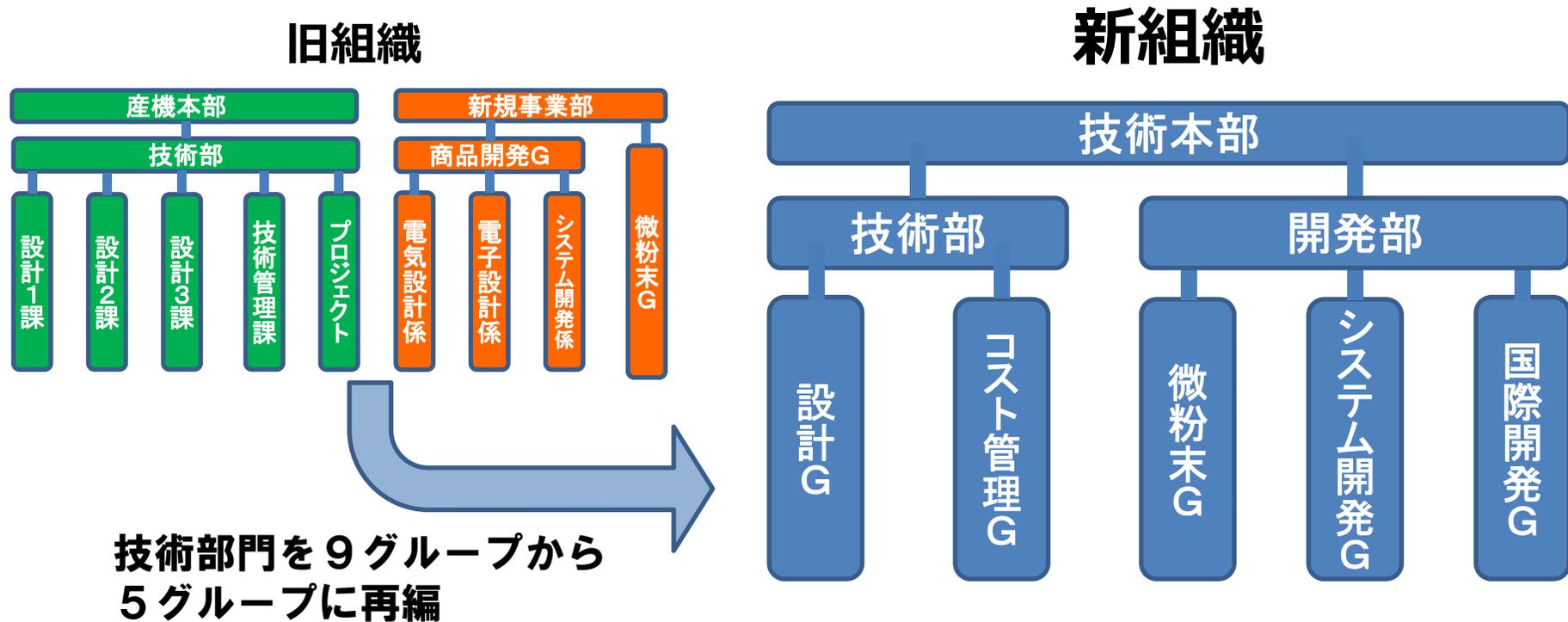


その他事業の取り組み

技術本部

技術本部の取り組み

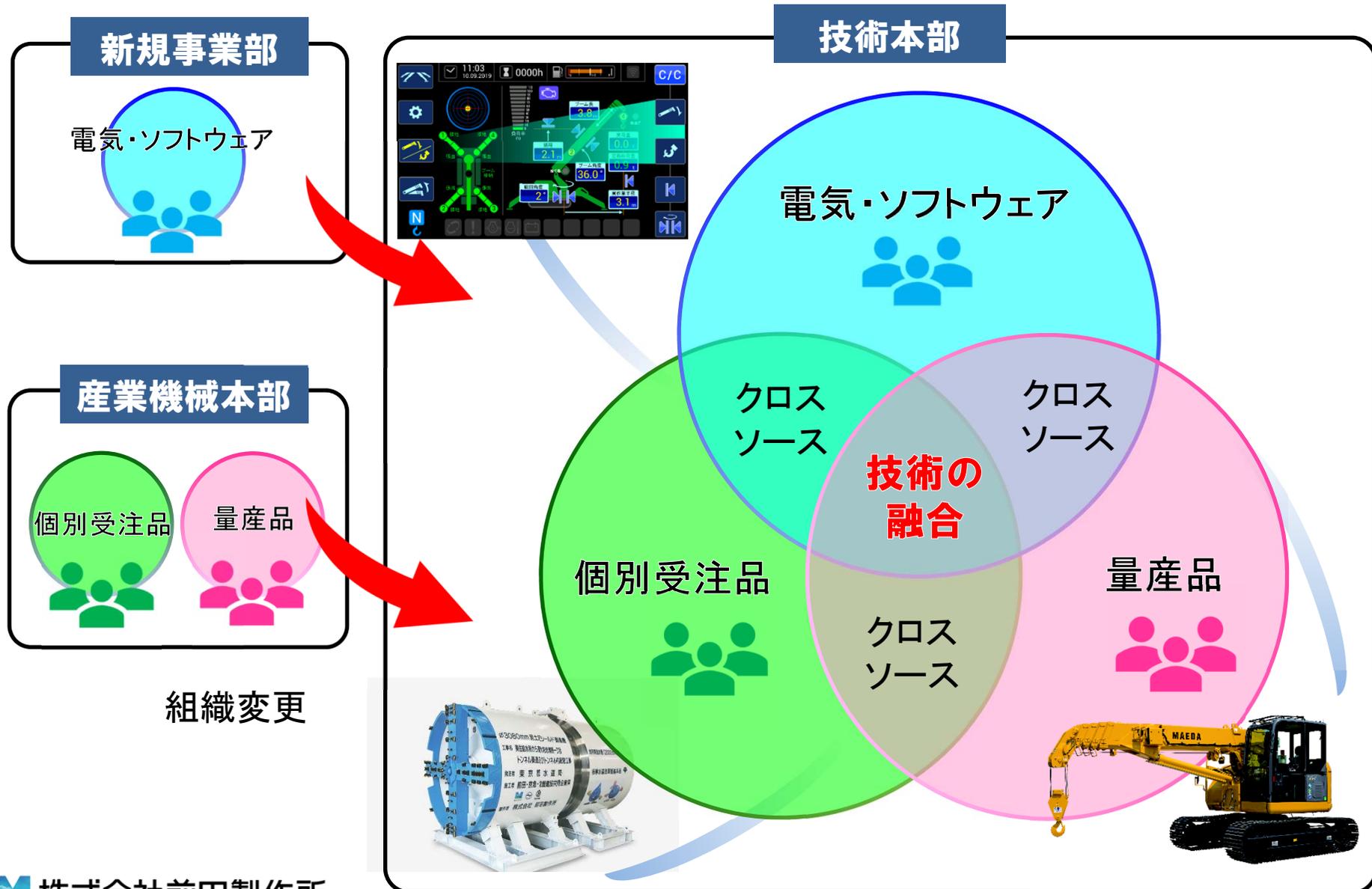
■ 技術本部を新設



『技術のマエダ』の実現のため、
技術力を結集し、効率化と技術レベルの向上を図る

技術本部の取り組み

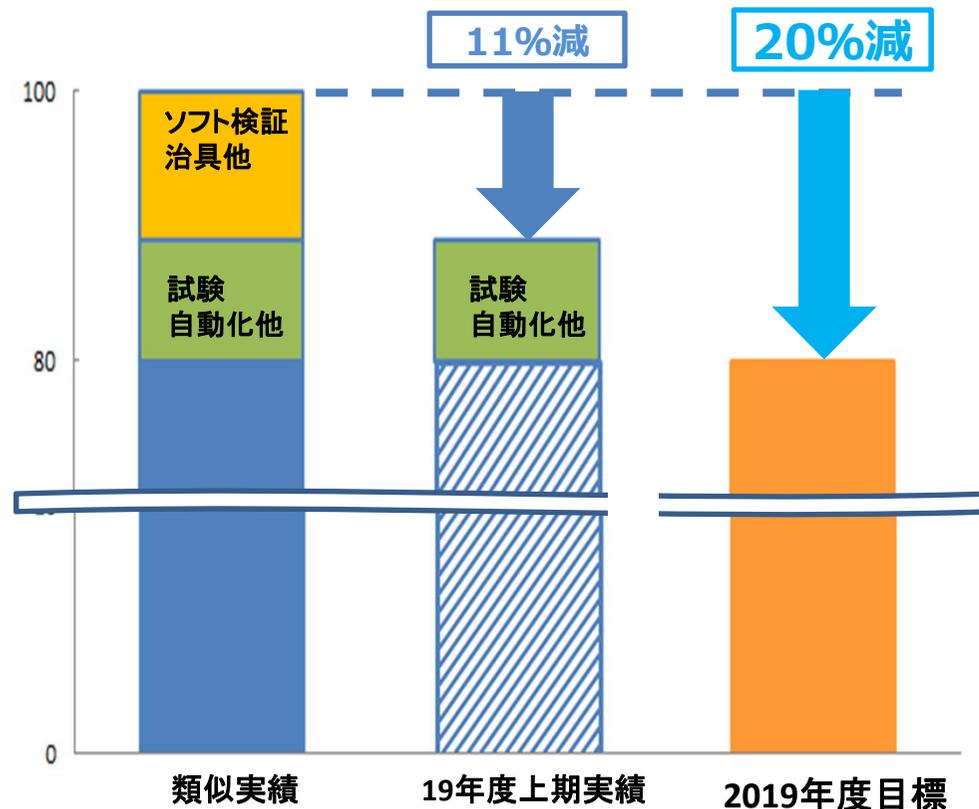
技術本部新設により技術の融合と効率化が進捗



技術本部の取り組み

■ 開発業務効率化により製品開発期間を短縮

【開発期間】



- ・ソフト検証治具（自社開発）や技術本部新設による人員のクロスソースにより製品開発期間を11%削減
- ・下期耐久テストの自動化（無人操作とカメラ監視）の推進

技術本部の取り組み

クローラクレーン用モニタリングシステム特許取得

主な特許取得内容

① 各種表示モニターの一体化 (安全性・視認性確保)

- 安全装置・エンジン情報
- 後方カメラ画像
- 作業履歴



作業履歴

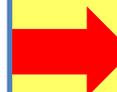
消耗品一覧	残り時間	交換間隔	交換回数
エンジンオイル交換	489h	500h	111回
エンジンオイルフィルター交換	489h	500h	2回
燃料フィルター交換	489h	500h	1回
作業油タンクアブリーゼメント交換	489h	500h	128回
燃料フィルター交換	489h	500h	0回
燃料メインフィルター交換	489h	500h	0回
走行モーター減速機ケースのオイル交換	489h	500h	0回
ウインチ減速機ケースのオイル交換	989h	1000h	3回
作動油フィルター交換	989h	1000h	0回
作動油タンクアブリーゼメントの交換	989h	1000h	0回
アキュムレータの交換	3989h	4000h	0回
作動油タンクのオイル交換	4989h	5000h	205回

② クレーン履歴のUSBメモリ への保存

- 非常解除履歴
- エラー履歴



USBメモリへ保存



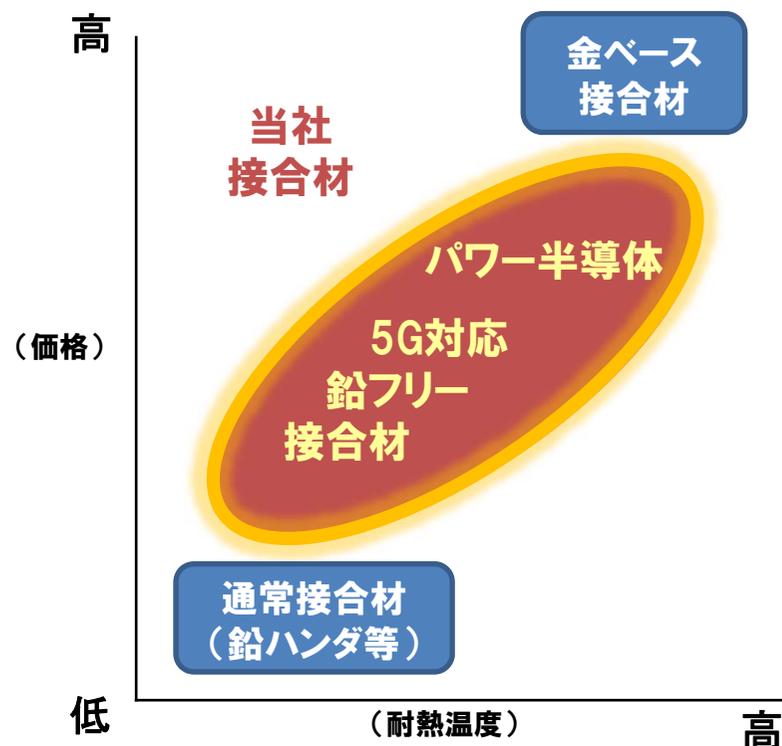
パソコン等で
閲覧・編集可能

自社製品優位性の向上

技術本部の取り組み

合金微粉末製造の取り組み

【当社接合材の適用範囲】



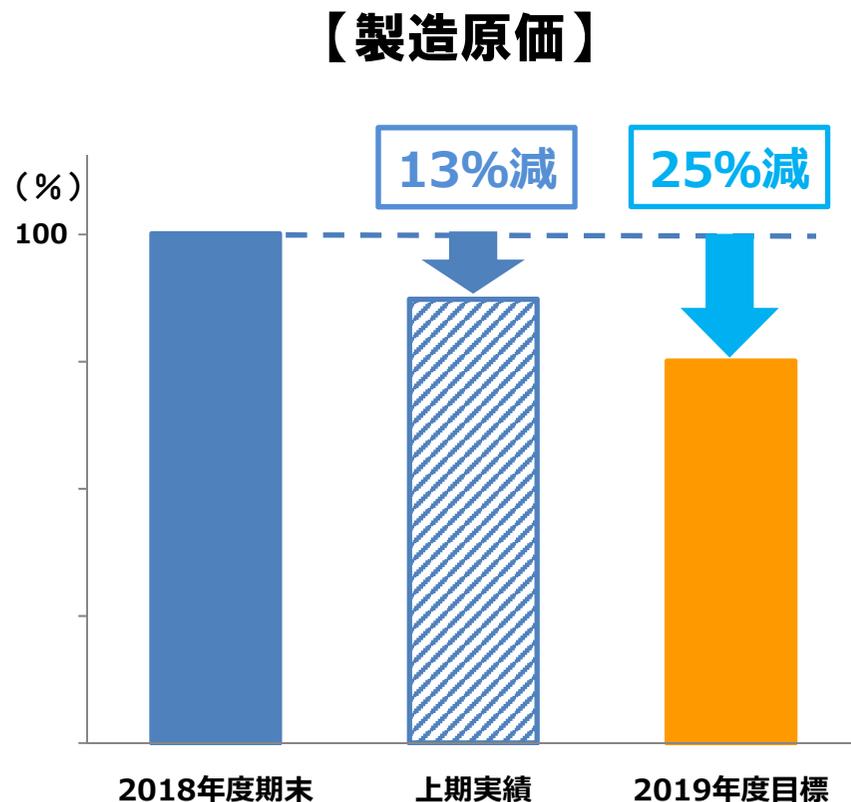
次世代パワー半導体の普及が当初計画より遅れはあるが、粉末の用途拡大も並行して行い販売量の増大を目指す。

粉末用途の拡大

- ・用途に応じた粉末製品の拡充
- ・生産効率化推進による価格競争力の強化

技術本部の取り組み

■ 合金微粉末製造における生産効率の向上



見える化・省力化推進



製造原価13%低減

下期取り組み事項

- ・ 量産技術のレベルアップにより年度目標の製造原価25%低減を目指す

「安全・健康・コンプライアンス」への 取り組み

ダイバーシティへの取り組み

女性活躍推進



「えるぼし」の取得

「えるぼし-認定段階3」
2019年7月認定

子育て・介護支援

社内規則の見直し

- 在宅勤務を制度化
- ジョブリターンを制度化
- 育児・看護休暇の拡大



働き方改革への取り組み

2017年4月1日に、MAEDA働き方改革宣言を発表しました。
今回、社員の労働環境を更に改善するため、また我が社が更に成長するために、
前田製作所は新たに働き方改革を宣言します。

MAEDA NEW 働き方改革宣言

社員の労働環境改善のため 会社の持続的な成長のため
新たに 3つの施策を宣言します

労働時間の削減を推進します

健康経営を推進します

ダイバーシティーを推進します

株式会社前田製作所
代表取締役 塩入正章

社会への貢献

■ 台風19号災害への支援活動

	実施事項
1	対策本部の設置 ⇒ 社員・家族の安否、家屋の状況を確認
2	近隣住民の避難受け入れ
3	レンタル機械(ダンプ)の無償貸し出し
4	ボランティア活動
5	義援金協力



2【近隣住民避難受け入れ】



3【作業中の当社レンタル機械】



4【ボランティア活動】

3. 今後の見通し

今後の見通し

■ 建設投資・労務需給

- ▶ 引き続きコストの増加懸念、
若年層を中心とした人手不足感が残る

■ 外部環境

- ▶ 米中間の通商問題、英国のEU離脱問題
等、の動向には引き続き注意が必要

先行き不透明な状況で推移

2019年度 通期見通し

【2019年度 通期業績予想】

(単位:百万円)

	2018年度 実績	2019年度 見込
売上高	36,505	37,000
営業利益	1,689	1,700
経常利益	1,753	1,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	942	1,150

お問い合わせ先

株式会社前田製作所
管理部

TEL : 026-292-2222

FAX : 026-293-0370

E-mail : info@maesei.co.jp

本資料には、2019年11月13日現在の将来に関する見通し、および計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。
経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用ください。